

### 平成28年度（29年度集計）体罰・セクシュアル・ハラスメントに関する調査結果について

千葉市教育委員会では、平成28年度分の市内の小・中・特別支援・高等学校の児童生徒（保護者）及び教職員を対象とした体罰・セクシュアル・ハラスメントに関する調査結果を取りまとめましたので、お知らせします。

#### 1 調査の目的

本調査は、児童生徒と教職員との関わり合いの中で起こる体罰やセクシュアル・ハラスメントに関する実態を把握するとともに、具体的な対策を講じ、より良い学校環境をつくるために実施する。

#### 2 調査方法等

- (1) 調査対象 市内の小・中・特別支援・高等学校に在籍する児童生徒及び教職員  
※小学校・特別支援学校は保護者も含む
- (2) 調査対象期間 平成28年4月～平成29年3月8日
- (3) 実施方法 氏名については記載したくない場合は「学年・組・性別のみで構わない」としている。  
※本調査は平成25年度から毎年実施

#### 3 調査結果（※詳細は、別添資料参照）

- (1) 体罰 6件（前回調査5件）  
※処分については、いずれの6件も厳重注意としている。
- (2) セクシュアル・ハラスメント
  - ア 児童生徒からの回答数  
小学校24人（前回調査19人）、中学校42人（前回調査31人）、高等学校0人（前回調査2人）、特別支援学校は0人（前回調査0人）
  - イ 教職員からの回答数  
小学校22人（前回調査22人）、中学校6人（前回調査10人）、高等学校0人（前回調査1人）、特別支援学校4人（前回調査2人）
- (3) 各学校での取組み  
職員会議等において資料を提示し、体罰・セクシュアル・ハラスメントの禁止について周知徹底を図っている。また、校内巡視や授業参観による状況把握と防止に向けての研修に努めている。

#### 4 今後の取組み等

- ・セクシュアル・ハラスメントに対する児童生徒の意識が高まってきており、今まではスキンシップとして好意的に受け入れられていた肩を叩いたり、頭をなでたりといった行為についても、児童生徒、保護者から疑念を持たれないように、より慎重な対応が必要である。
- ・小学校では若年層教職員の割合が高く、容姿や結婚の話題、性的な内容を含む会話を不快と感じての回答が多く寄せられており、誰もが気持ちよく働ける職場の雰囲気づくりにより一層の努力が必要である。
- ・各学校では、言葉の暴力や子供の叱り方についての指導や、教員の連携を強化し複数体制での指導に取り組むこととする。また、教育委員会としては、「体罰・セクシュアル・ハラスメント撲滅のリーフレット」及び「セルフチェックシート」の活用を呼びかけるとともに、服務管理やモラルに関する研修会の充実などを図る。

#### 5 その他

今回の調査結果については、市教育委員会ホームページにも掲載する予定。

【URL】 <http://www.city.chiba.jp/kyoiku/kyoikusomu/kyoikushokuin/index.html>